

平成30年度(2018) 水道事業会計決算概要

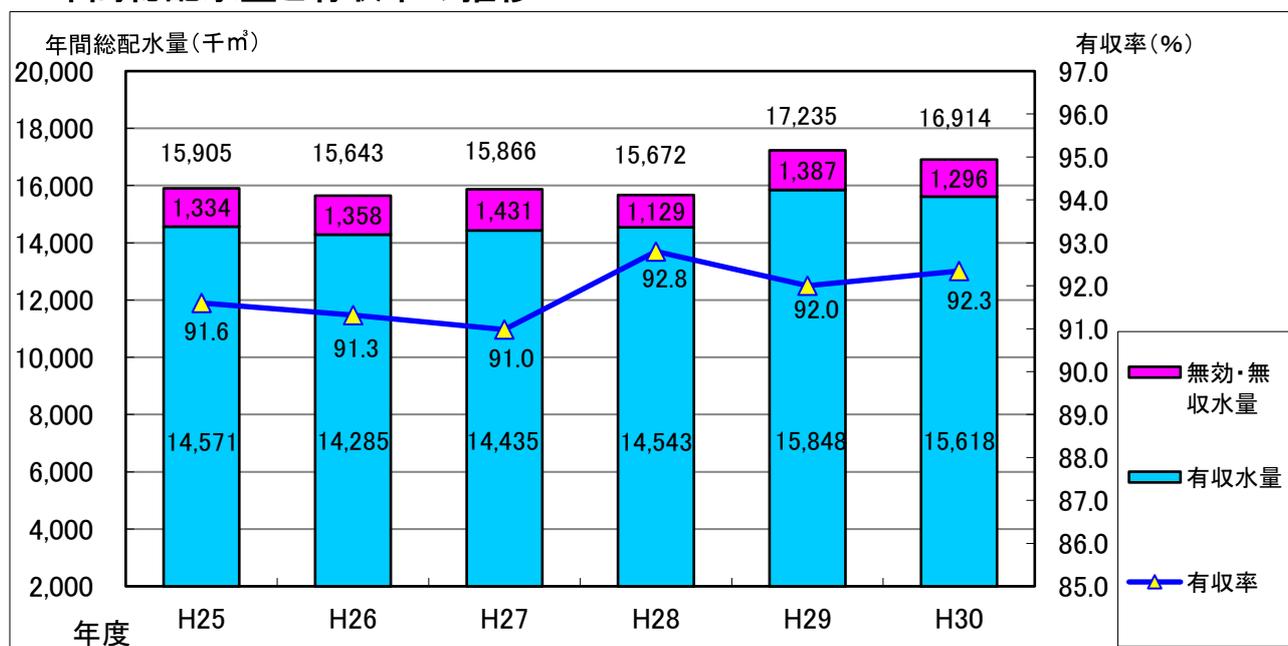
1. 概況

平成30年度は、「安全で安心な水を安定供給し続ける水道」を基本理念とした「出雲市水道事業ビジョン」を策定し、これに基づいた「出雲市水道事業基本計画」等の各種計画を立て、施設の更新や耐震化等の取組を進めました。

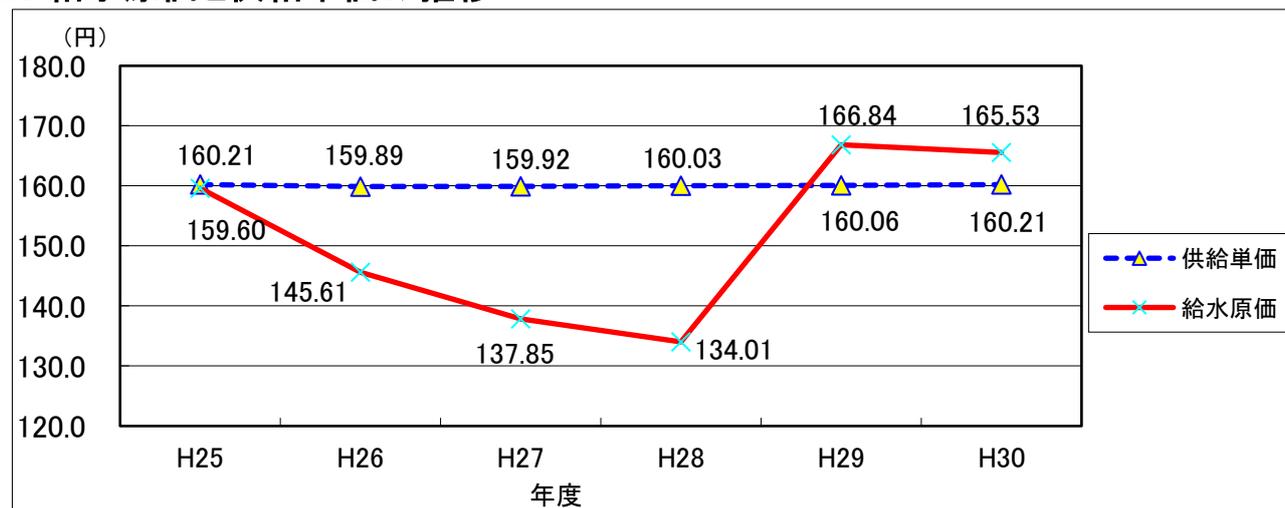
業務面では、給水人口・給水戸数とも前年度より増加しましたが、年間総配水量及び年間総有収水量は、前年度より減少しました。また、施設面では、4か年の継続事業であった向山配水池等再構築事業の最終年で、向山配水池(容量9,000m³)が完成し、平成31年1月から供用を開始しました。

区分	平成30年度決算	平成29年度決算	増減
給水人口(人)	144,407	144,283	124
給水戸数(戸)	55,477	54,538	939
年間総配水量(m ³)	16,913,517	17,235,381	△ 321,864
年間総有収水量(m ³)	15,617,536	15,848,336	△ 230,800

2. 年間総配水量と有収率の推移



3. 給水原価と供給単価の推移



※給水原価は、会計制度の改正により平成26年度から次の計算式で算出しています。

$$\text{給水原価} = (\text{給水費用} - \text{長期前受金戻入}) / \text{年間総有収水量}$$

4. 収益的収入及び支出

(単位:千円 税抜)

区 分	平成30年度 決算	平成29年度 決算	平成28年度 決算	平成30年度決算と 平成29年度決算と の差
事業収益	3,252,174	3,268,307	2,879,955	△ 16,133
営業収益	2,632,545	2,636,949	2,402,761	△ 4,404
水道料金	2,502,051	2,536,636	2,327,358	△ 34,585
受託工事収益	81,448	17,660	7,344	63,788
原因者負担金ほか	49,046	82,653	68,059	△ 33,607
営業外収益	618,194	631,356	449,533	△ 13,162
加入金	82,410	82,990	79,960	△ 580
長期前受金戻入ほか	535,784	548,366	369,573	△ 12,582
特別利益	1,435	2	27,661	1,433
事業費用	3,089,842	3,087,226	2,299,949	2,616
営業費用	2,825,045	2,802,524	2,136,725	22,521
職員給与費	316,494	315,184	242,142	1,310
動力費	214,695	200,785	146,929	13,910
薬品費	24,770	22,649	18,828	2,121
修繕費	132,287	182,958	169,084	△ 50,671
減価償却費	1,501,446	1,498,159	1,140,423	3,287
資産減耗費	36,547	44,095	14,778	△ 7,548
受託工事費	85,842	22,619	13,082	63,223
材料費	258	0	0	258
委託料ほか	512,706	516,075	391,459	△ 3,369
営業外費用	260,062	284,241	161,667	△ 24,179
支払利息	216,721	230,887	149,567	△ 14,166
その他営業外費用	43,341	53,354	12,100	△ 10,013
特別損失	4,735	461	1,557	4,274
営業利益	△ 192,500	△ 165,575	266,036	△ 26,925
純利益	162,332	181,081	580,006	△ 18,749

収入は3,252,174千円、支出は3,089,842千円となり、収入支出差引で162,332千円の純利益となりました。

前年度と比較すると、収入は、受託工事収益の増加がありましたが、有収水量の減少に伴う水道料金収入の減少などにより16,133千円の減額となりました。支出は、電気料金の高騰による動力費や受託工事費の増加などにより2,616千円の増額となりました。この結果、2年続けて営業費用を営業収益で賄えない状況となり、純利益は前年度より18,749千円の減額となりました。

5. 資本的収入及び支出

(単位:千円 税込)

区 分	平成30年度 決算	平成29年度 決算	平成28年度 決算	平成30年度決算と 平成29年度決算と の差
資本的収入	888,884	881,668	445,702	7,216
企業債	300,000	300,000	300,000	0
国庫支出金	11,459	21,366	0	△ 9,907
工事負担金	135,190	134,555	116,150	635
他会計負担金	12,537	21,481	4,930	△ 8,944
他会計繰入金	429,698	404,266	24,622	25,432
資本的支出	2,885,776	2,235,316	1,774,512	650,460
建設改良費	2,094,255	1,483,622	1,395,360	610,633
拡張事業	395,282	288,273	484,310	107,009
改良事業	1,698,973	1,195,349	911,050	503,624
(建設改良費の内訳)				
工事費	1,857,681	1,275,548	1,191,647	582,133
職員給与費	96,034	102,514	79,030	△ 6,480
委託料ほか	128,359	43,985	104,483	84,374
土地購入費	212	2,031	0	△ 1,819
給水施設費ほか	11,969	59,544	20,200	△ 47,575
企業債償還金	791,521	751,694	379,152	39,827
収支不足額	△ 1,996,892	△ 1,353,648	△ 1,328,810	△ 643,244

収入は888,884千円、支出は2,885,776千円となり、収入支出差引で1,996,892千円の収支不足となりました。

前年度と比較すると、収入は、旧簡易水道事業の企業債償還元金に対する繰入金の増加などにより、7,216千円の増額となりました。支出は、工事費や委託料の増加などにより650,460千円の増額となりました。この結果、収支不足額は前年度より643,244千円の増額となりました。

なお、不足額は、消費税及び地方消費税資本的収支調整額及び損益勘定留保資金で補填しました。

【拡張事業】

主なものとして、「国道9号バイパス大津朝倉北交差点～姫原東交差点配水本管布設工事」「上島町上島水源地第1-2揚水試験井築造工事」「国富町金山地区金山ポンプ場中央監視設備工事」など総額工事費330,305千円で実施しました。

【改良事業】

主なものとして、「大津町出雲商業高校西送・配水管布設替工事」「向山配水池等再構築事業」「来原浄水場外計装設備更新工事」など総額工事費1,527,376千円で実施しました。

6. 留保資金残高

(単位:千円)

財源内訳	H29年度末残高	H30年度中増加額	H30年度中減少額	補てん額	H30年度末残高
減債積立金	364	0	0	0	364
建設改良積立金	1,307,689	181,081	0	0	1,488,770
損益勘定留保資金	770,194	1,171,543	770,194	1,121,542	50,001
過年度損益勘定留保資金	0	770,194	0	770,194	0
消費税及び地方消費税 資本的収支調整額	0	105,156	0	105,156	0
当年度純利益	181,081	162,332	181,081	0	162,332
合計	2,259,328	2,390,306	951,275	1,996,892	1,701,467
貸倒引当金 賞与引当金(3条)	41,115				46,238
留保資金残高	2,218,213				1,655,229

平成30年度末の留保資金残高は、資本的収支の収支不足額を補てんした結果、1,655,229千円となりました。

前年度と比較すると、向山配水池等再構築事業、配水本管二条化事業等の実施により、資本的収支における収支不足額が増加したため、前年度より562,984千円の減額となりました。

